

Tamashin Report

たましんレポート

2009年12月期

平成21年4月1日～12月31日



多摩信用金庫

理事長からのごあいさつ

いつも〈たましん〉をご愛顧いただき、ありがとうございます。
平成21年12月までの私たちの活動内容やその結果をご報告いたします。
私たちのありのままの姿をご覧いただき、率直なご意見をいただきながら、
これからの活動に活かしていきたいと考えています。
今後も〈たましん〉にご理解・ご協力をお願い申し上げます。



理事長 佐藤 浩子

預金・貸出金について

預金は707億円増加しましたが、貸出金は減少しました。

平成21年12月末の預金積金残高は、3月末より707億円増加し2兆1,677億円となりました。個人のお客さまを中心に流動性・定期性ともに伸びています。

貸出金残高については、3月末より285億円減少し、1兆1,159億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は214億円減少し、個人のお客さまのご融資も71億円の減少となっています。厳しい環境下にある企業の資金面での課題に応えるとともに、個人の方の悩みや課題により多く応えられるよう、さらに行動量を増してまいります。

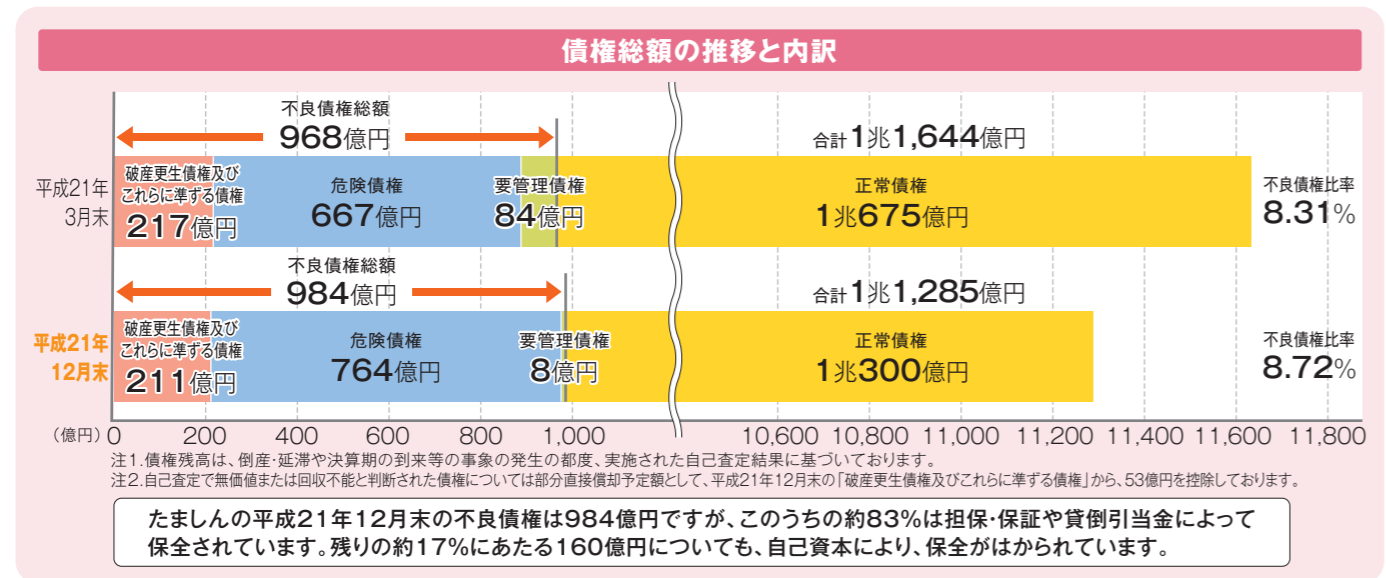


※単位未満切り捨て表示のため、前年比が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

不良債権について

不良債権比率は0.41%上昇して8.72%となりました。

平成21年12月末の金融再生法における開示債権のうち正常債権を除く開示額は、984億円となり、不良債権比率は8.72%となりました。たましんの不良債権に対する考え方は、適正な資産査定を行うのももちろんのこと、お客さまの業況を適正に把握しながら課題を見出し、ともにその解決を目指すことにあります。今後も、お客さまの業況改善への支援を積極的に行い、さらなる地域貢献を果たしていく中で、たましんの健全化に努めてまいります。



有価証券について

資金運用については、国内の債券を中心に堅実な運用を心がけ、評価益が増加しました。

金利リスクや信用リスクなどの各種リスクの管理を行ったうえで、国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築し、堅実な資金運用を心がけております。その結果、その他保有有価証券の評価益は93億円となりました。

	取得原価(償却原価)		貸借対照表計上額		評価差額		うち益		うち損	
	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末
その他保有有価証券	561,402	591,774	560,760	601,092	△641	9,318	3,217	11,051	3,859	1,733
株式	9,569	10,842	7,524	10,416	△2,045	△426	287	945	2,332	1,372
債券	468,180	474,251	469,561	482,441	1,380	8,190	2,015	8,286	634	96
その他	83,652	106,679	83,674	108,234	22	1,554	913	1,819	891	264

注1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。また、時価評価されていない「その他有価証券」も含まれています。
注2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
注3. 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。これにより、市場価格をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、債券はそれぞれ1,329百万円(平成21年3月末)、1,432百万円(平成21年12月末)増加しております。
注4. 平成21年12月末の「評価差額」は、平成21年12月末時点の取得原価(償却原価法適用後、減損処理前)と貸借対照表計上額との差額です。

満期保有目的の債券、子会社株式に係る貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。

	貸借対照表計上額		差額		うち益		うち損	
	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末	平成21年3月末	平成21年12月末
満期保有目的の債券	58,440	62,439	△977	799	305	1,165	1,283	365
子会社株式	1,653	1,653	—	—	—	—	—	—

注1. 平成21年12月末の「差額」は、貸借対照表計上額(平成21年12月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理前))と時価(期末日における市場価格等)との差額です。
注2. 満期保有目的の債券は、時価評価されていない非上場社債を含んでいます。
注3. 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって評価しております。これにより、市場価格をもって評価した場合に比べ、差額はそれぞれ152百万円(平成21年3月末)、175百万円(平成21年12月末)増加しております。

損益について

業務純益は100億円、当期純利益は31億円となりました。

平成21年12月末の業務粗利益は310億円の計上となり、経費219億円などを控除した業務純益は100億円となりました。

一方、個別貸倒引当金繰入額など臨時損益△52億円を計上したことにより経常利益は48億円となり、当期純利益は31億円となりました。



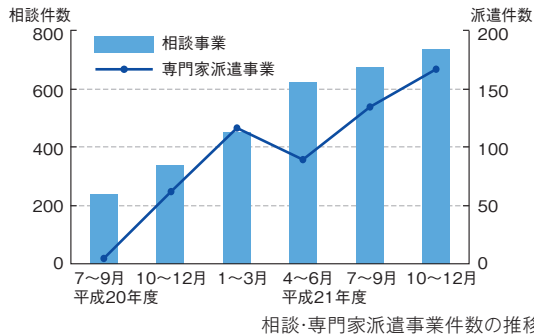
科目	平成21年12月末(平成21年4月1日~12月31日)
業務粗利益	31,031
うち資金利益	29,096
うち役員取引等利益	1,567
一般貸倒引当金繰入額	△982
経費	21,916
業務純益	10,097
コア業務純益	8,661
臨時損益	△5,209
うち個別貸倒引当金繰入額	5,569
経常利益	4,884
当期純利益	3,126

※1 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。
※2 本資料に掲載している計数は、会計監査人に監査を受けておりません。

企業へのお手伝い

◆地域力連携拠点事業の実施

たましんは「多摩地域 地域力連携拠点」として、中小企業が直面する数多くの課題に対する支援に取り組んでいます。平成20年度に開始して以来、相談事業件数は累計3,064件、専門家派遣事業件数は累計572件に達しました。



◆第7回 多摩ブルー・グリーン賞表彰式の実施

地域事業者の優れた技術やビジネスモデルの顕彰制度第7回「多摩ブルー・グリーン賞」は、140件の応募をいただき、最優秀賞に武陽ガス株式会社(多摩ブルー賞)と特定非営利活動法人あい(多摩グリーン賞)、他に優秀賞10件の受賞者を決定し、12月16日に表彰式を行いました。



記念撮影に臨む受賞者

個人の皆さまへの支援

◆JR東日本のATMコーナー「VIEW ALTTE」での取扱い開始

10月26日より東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)のATMコーナー「VIEW ALTTE」にて、信用金庫として初めて当金庫のキャッシュカードがお取扱いいただけるようになりました。「駅たましん」としてお客さまにご好評いただき、「VIEW ALTTE」での提携利用開始から12月末までの期間で8,493件のご利用がありました。



主要駅に設置されているVIEW ALTTE

◆ATMコーナー新設

新たに2カ所のATMコーナーを設置しました。これからも、利便性の向上を目指していきます。

- BIG BOX東大和店内(11月6日)
- QURUNE東久留米店内(11月13日)

◆「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント」を開催

4月より多摩各地域でスタートした「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント'09」は、約2,200名の方にご参加いただきました。12月3日に前夜祭を開催し、杉本英世プロによるコース攻略法や大会当日の組み合わせの発表などが行われました。12月14日には決勝戦を開催し、132名の方が参加され、タイトルをかけて熱戦が繰り広げられました。



前夜祭での杉本プロ

地域社会への取り組み

◆福生市商店街振興基本調査に協力

12月6日に「福生市商店街振興基本調査報告会」を開催し、4月より実施協力してまいりました標記調査の結果を報告すると共に、今後進むべき方向性について討論を行いました。早速2月からは、本報告に基づく各種取り組みを開始いたします。たましんは引き続き、地域一丸となったまちづくり活動・商店街振興活動を応援していきます。



報告会

◆「多摩・武蔵野検定」の実施に全面的に協力

多摩地域の魅力を再発見するご当地検定「多摩・武蔵野検定」は平成21年度で2回目となり、合格者同士のつながりを生む「合格者の集い」や『多摩・武蔵野マスター2級』が新たに実施されました。11月8日の検定日には2級・3級を総勢906名が受検しました。当金庫も地域の一員として企画・検定委員・実行委員の派遣などで協力しました。



試験会場

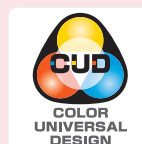
たましんレポート
2009年12月期
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp
発行:平成22年2月

本誌に関するお問い合わせは

お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329

たましんホームページでも本誌やたましんに
関するご意見を承っております。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。

